

第85回評議員会

皆保険守り地域医療充実へ奮闘を



協会は5月18日、第85回評議員会を開催した。執行部による2013年度会務報告に続く討論では、淡路支部から松本敬明評議員(洲本市)が文書で発言、支部活動の歩みや、混合診療問題などについて述べた。

淡路支部ニュース

2014.5.25
No.304

兵庫県保険医協会淡路支部
〒656-0005 洲本市物部
3-3-44 松本産婦人科内
TEL 0799-2270073

Let's...

昨年四月十三日の地震は、わが人生のほとんど全てを変えてしまった。

現在テレビは娘の部屋に一台だけ、私の枕頭にはラジオが一台だけ、かつては六台、選局はしない。現在のラジオはNHKの一台だけ。

スイッチを入れ音量調整するだけである。

一般新聞紙も一面はほぼ各紙同様である。他面特にいわゆる三面記事になると抜きつ抜かれつということらしい。一方、読む方は千差万別である。それぞれ年令、趣味、その日によっていろいろ。それがテレビになるとまさに各局マチマチ。更にニュースを聞こうと思っても、何時の

ニュースを見ればよいのか? 未だに分からない。

一方、読む方聞く方はまさにその人その人の自由であり、勝手である。そこで問題は両者の意が通ずるか否かである。結局はお互いの長年の経験、経量に帰すると言わざるを得ない。協会誌紙も同様、わが支部ニュースもそういうことになりますね。

雑誌になると、なおさらである。「あなたはどこから読み始めますか」「どこを!最後はどこを」とよく尋ねたり、時にはアンケートを!

五月は協会としては評議員会の、そして支部総会特に今年は設立三十五周年の総会の月。よろしくご出席を、そしてお互いの顔を見て...

【廿日 松本記】

兵庫県保険医協会 第36回淡路支部総会

日時 5月31日(土)15時～

会場 洲本市健康福祉館3階(洲本市応急診療所の建物)

記念講演

15時30分～

在宅医療地域連携のコツ

医療法人おひさま会・理事長、やまぐちクリニック院長 山口高秀先生

共催：第一三共株式会社

地域連携という言葉は、叫ばれ始めて本当に久しいものですが、なかなか実際には難しいものがあります。それは、多職種連携であり、多組織連携でもあり同時に、文化も全く異なる「他」職種連携でもあり、「他」組織連携でもあります。そこには様々の思いの違いや信念の違いから、連携どころか対立すら生まれてしまうこともしばしばです。医療法人おひさま会では、その難所を乗り越えるために、おひさまネットワークを立ち上げてその運営は6年を超えました。

地域連携で起こる問題は、基本的にはたったふたつに集約されると思います。それは、「バラバラ問題」と「ハードル問題」です。この2つをどのように乗り越えるのか？そして、おひさまネットワークをしてもなお残る、その難所とは？

おひさまネットワークを運用して気づいた、その中で蓄積されたコツや勘所を、現場スタッフ交えて楽しくお伝えしたいと思います。皆さんにお会いできるのを楽しみにしておりますので、何卒ふるってご参加くださいませ！

【山口記】

お問い合わせは、TEL 078 - 393 - 1817 協会事務局：山下・楠まで

兵庫県保険医協会 第36回淡路支部総会(5/31)出欠確認

返信FAX 078 - 393 - 1802 事務局・山下あて

■支部総会／記念講演に

①ご出席()人 ②都合がつけば()人

地区 _____ 市 _____ 医療機関名 _____ 代表者 _____